

■高知県における取組

項目・目標値	取り組む施策	令和4年度	令和5年度
		取り組み状況・現状値	取り組み状況・現状値
がん対策推進計画の進捗・管理 全体目標 (1) がんによる死亡者数の減少 参考：がんの年齢調整死亡率 (75歳未満人口10万対) H26-28平均 80.1 (2) がん患者、その家族及び 遺族の満足度の向上	○がん対策推進協議会開催 がんによる死亡率の把握 患者満足度の把握	【取り組み状況】 ・協議会【第36回】R4.12.1【第37回】R5.3.27 ・がんの年齢調整死亡率（75歳未満人口10万対） R元～R3平均：74.4（R元:78.3 R2:72.8 R3:72.2） （参考 H30～R2平均：76.2（H30:77.4 R元:78.3 R2:72.8） [出典]国立がん研究センターがん情報サービス（がん登録と統計） ※2年に1回の調査 次回調査 R5年度	【取り組み状況】 ・協議会【第38回】R5.7.24【第39回】R5.10.16【第40回】R6.1.24 ・がんの年齢調整死亡率（75歳未満人口10万対） R元～R3平均：74.4（R元:78.3 R2:72.8 R3:72.2） （参考 H30～R2平均：76.2（H30:77.4 R元:78.3 R2:72.8） [出典]国立がん研究センターがん情報サービス（がん登録と統計） ・患者満足度等調査（R5.5.15～R5.6.30）協力医療機関30※2年に1回の調査 ・患者への配布数1,088 回収数571 回収率52.5% ・受けた治療等に満足している患者の割合 72.2%
1. がん予防及び早期発見の推進 個別目標 (1) 喫煙率 男性 20%以下 女性 5%以下 (2) 受動喫煙率 家庭 3%以下 職場 10%以下 飲食店 14%以下 (3) アルコール摂取量 (1日あたりの純アルコール摂取量 男性40g以上、女性20g以上の者) 男性 15%以下 女性7%以下 (4) 運動習慣者の割合の増加 20～64歳 男性36%以上 女性33%以上 65歳以上 男性58%以上 女性48%以上 (5) 食塩摂取量 8.0g以下 野菜摂取量 350g以上 果物摂取量(100g未満の県民の割合) 30%以下 ※(1)～(5)の目標は、「第4期よさこい健康プラン21」で設定、「健康づくり推進協議会」で取組状況を確認している。	○喫煙対策 ※「第4期よさこい健康プラン21」で設定、「健康づくり推進協議会」で取組状況を確認していく。 ○生活習慣改善 ※「第4期よさこい健康プラン21」で設定、「健康づくり推進協議会」で取組状況を確認していく。	【現状値】 (1) 喫煙率 (2) 受動喫煙率 ※県民健康栄養調査 R5.3未公表予定 【取り組み状況】 ・とさ禁煙サポーターズフォローアップ講習会（R5.2.18予定） ・たばこ対策専門部会 1回開催（R5.1.25～2.8 書面会議） ・禁煙デー・週間にポスター掲示等での啓発（5月及び6月） ・高知家健康チャレンジで“禁煙”「始めよう まずは禁煙外来へ」として、禁煙外来受診を啓発（11月スタート） ・禁煙指導スキルアップ研修（Web、通年）の周知 【現状値】 (3) アルコール摂取量 (1日あたりの純アルコール摂取量 男性40g以上、女性20g以上の者) (4) 運動習慣者の割合の増加 (5) 食塩、野菜、果物摂取量 ※県民健康栄養調査 R5.3未公表予定 【取り組み状況】 ・高知家健康チャレンジで“節酒”「週2日休肝日」、「運動」「あと15分（約1,500歩）歩こう」 “減塩”「1日の塩分摂取量マイナス1g」、「野菜摂取」「野菜、もう1皿（70g）」を啓発（11月スタート） ・健康パスポートアプリ活用のウォーキングイベント等の開催（延べ12,064名参加 7回） ・健康づくりひとくちメモでアルコール、運動、栄養（減塩・野菜摂取）の啓発23回 ・特定保健指導従事者育成研修会（初任者編、経験者編Ⅰ）の開催（延べ205名参加） ・ヘルスメイトによるイベント等の実施（減塩、野菜摂取） ・推定一日塩分摂取量測定を実施（市町村国保の特定健診（集団））、減塩を普及啓発（31市町村 13,707名（R4.12））	【現状値】 (1) 喫煙率 (2) 受動喫煙率 (R6年国民健康・栄養調査で把握予定) 【取り組み状況】 ・禁煙デー・週間にポスター掲示、高知城ライトアップによる啓発（5月及び6月） ・高知家健康チャレンジで“禁煙”「始めよう まずは禁煙外来へ」として、禁煙外来受診を啓発（9月スタート） ・たばこ対策専門部会 1回開催（R5.10.20） ・とさ禁煙サポーターズフォローアップ講習会（R6.2開催予定） 【現状値】 (3) アルコール摂取量 (4) 運動習慣者の割合の増加 (5) 食塩、野菜、果物摂取量 (R6年国民健康・栄養調査で把握予定) 【取り組み状況】 ・高知家健康チャレンジで“節酒”「週2日休肝日」、「運動」「あと15分（約1,500歩）歩こう」 “減塩”「1日の塩分摂取量マイナス1g」、「野菜摂取」「野菜、もう1皿（70g）」を啓発（9月スタート） ・健康パスポートアプリ活用のウォーキングイベント等の開催4回（11月末時点） ・健康づくりひとくちメモでアルコール、運動、栄養（減塩・野菜摂取）の啓発16回（11月末時点） ・特定保健指導従事者育成研修会（初任者編）の開催（91名参加） ・ヘルスメイトによるイベント等の実施（減塩、野菜摂取） ・推定一日塩分摂取量測定を実施（市町村国保の特定健診（集団））、減塩を普及啓発（31市町村 10,954名（R5.10））

■高知県における取組

項目・目標値	取り組む施策	令和4年度	令和5年度
		取り組み状況・現状値	取り組み状況・現状値
(6) 肝炎検査の陽性者が適切な治療を受けている 肝炎陽性者の精密検査受診率を90%以上にする	○感染に起因するがん対策	(6) 肝炎対策 ・肝炎ウイルス検査の実施	・肝炎ウイルス検査の実施 (B型/C型) (R5.11月時点、県保健所のみ) 保健所 : (20件/19件) 陽性者数 : (0名/0名)
		・肝炎医療コーディネーターの養成 研修会の開催 (フォローアップ研修: R 5. 1 月に 1 回実施 受講者数 : 35人) ・精密検査及び定期検査費用の助成 対象者: ①初回精密: 1年以内に行った検査で陽性の者 ②定期検査: 住民税235,000円未満世帯, 2回助成 ・肝炎治療の助成 (受給者証交付数 R5.2月現在) インターロン治療: 0件、インターロンフリー治療: 40件、核酸アナログ製剤治療: 413件 ・入院医療費の助成 対象者: 肝がん・重度肝硬変患者で1年以内に高額医療適用となる月が3月以上となる者 肝がん: 17件 (R5.2月現在) 肝がん・非代償性肝硬変併発: 1件 (R5.2月現在)	・肝炎医療コーディネーターの養成 フォローアップ研修: 11月に1回実施 受講者数: 17名 新規養成研修: 2月に実施予定 ・精密検査及び定期検査費用の助成 (R5年度.10月時点) ①0件 ②26件 ・肝炎治療の助成 (受給者証交付数) (R5.11月時点) インターロン治療: 0件、インターロンフリー治療: 38件、核酸アナログ製剤治療: 311件 ・入院医療費の助成 対象者: 肝がん・重度肝硬変患者で1年以内に高額医療適用となる月が3月以上となる者 肝がん: 28件 (R5.11月時点) 肝がん・非代償性肝硬変併発: 0件
(7) がん検診の受診率を50%にする (算定対象年齢は、40～69歳 (子宮は20～69歳))	○がん検診の受診促進・普及啓発	・成人T細胞白血病対策 妊婦健康診査でのHTLV-1抗体検査の実施 ・胃がん対策 ヘリコバクター・ピロ菌の除菌の胃がん発症予防における有効性等について、国の動向を注視	・成人T細胞白血病対策 妊婦健康診査でのHTLV-1抗体検査の実施 ・胃がん対策 ヘリコバクター・ピロ菌の除菌の胃がん発症予防における有効性等について、国の動向を注視
		【現状値】 (7) がん検診受診率 (40～69歳 (子宮頸は20～69歳)) R3実績 (市町村+職域) 肺がん 54.0%(+2.7) 子宮頸がん 36.4%(+0.5) 胃がん 35.6%(+1.8) 乳がん 43.8%(+0.6) 大腸がん 42.3%(+2.4) (8) がん検診受診率 (40～59歳) R3実績 (市町村検診+職域検診) 肺がん 59.4%(+1.9) 子宮頸がん 47.3%(+0.2) 胃がん 40.6%(+1.2) 乳がん 50.5%(+0.2) 大腸がん 46.5%(+1.9) 【取り組み状況】 ・無料クーポン事業(子宮頸20歳、乳40歳の者へ無料クーポン券の送付) : 国補助事業 子宮頸・乳検診: 無料クーポン事業: 10市町村が利用 精密検査未受診: 精密検査未受診者への受診勧奨: 5市町が利用 ・がん検診受診促進事業 (市町村補助金) 検診の個別通知・再勧奨・精密検査未受診者への受診勧奨など 市町村が行う受診促進の取組を支援。 ・居住地以外の市町村でも受診可能な広域検診の実施 5日(2/12-3/11) ・大腸がん郵送検診事業 (冬期限定郵送回収事業) : 中止 ※新型コロナ影響 ・がん検診啓発事業 テレビCM 300本(9月-11月),ラジオCM 200本(9-11月),WEB・SNS広告(9-11月) ほっとこうち(10月号)に広告掲載,子宮頸がん無料検診イベントの開催 (11/5) 新聞広告(がんと向き合う月間、広域がん検診),チラシの作成	【現状値】 (7) がん検診受診率 (40～69歳 (子宮頸は20～69歳)) R4実績 (市町村+職域) 肺がん 54.4%(+0.4) 子宮頸がん 36.9%(+0.5) 胃がん 36.9%(+1.3) 乳がん 45.3%(+1.5) 大腸がん 42.8%(+0.5) (8) がん検診受診率 (40～59歳) R4実績 (市町村検診+職域検診) 肺がん 59.2%(-0.2) 子宮頸がん 47.4%(+0.1) 胃がん 41.6%(+1.0) 乳がん 51.7%(+1.2) 大腸がん 46.6%(+0.1) 【取り組み状況】 ・無料クーポン事業(子宮頸20歳、乳40歳の者へ無料クーポン券の送付) : 国補助事業 子宮頸・乳検診: 無料クーポン事業: 10市町村が利用 精密検査未受診: 精密検査未受診者への受診勧奨: 5市町が利用 ・がん検診受診促進事業 (市町村補助金) 検診の個別通知・再勧奨・精密検査未受診者への受診勧奨など 市町村が行う受診促進の取組を支援。 ・居住地以外の市町村でも受診可能な広域検診の実施 5日(2/12-2/24) ・大腸がん郵送検診事業 (冬期限定郵送回収事業) : 中止 ・がん検診啓発事業 テレビCM 200本(9月-11月),ラジオCM 60本(9-11月),WEB・SNS広告(9-11月) 一緒にこうち!がん検診キャンペーン (10月-1月),子宮頸がん無料検診イベントの開催 新聞広告(がんと向き合う月間、広域がん検診),事業所向けリーフレットの作成
(8) 40～50歳代のがん検診受診率 を胃・大腸・子宮頸は50%に、 肺・乳は現受診率の維持・上昇 を目指す			

■高知県における取組

項目・目標値	取り組む施策	令和4年度	令和5年度
		取り組み状況・現状値	取り組み状況・現状値
(9) がん検診の精密検査受診率を大腸・子宮頸は90%に、肺・胃・乳は現受診率の維持・上昇を目指す		・協定企業との取組 東京海上・高知銀行（H20.7.23締結） ピンクライトアップ(高知城,マ・シバパーク,フィッシングハーバー,ラ・ヴィータ)（10/1-2） アフラック・第一生命・四国銀行（H22.7.28締結） 企業が独自に啓発チラシを作成・配布	・協定企業との取組 東京海上・高知銀行（H20.7.23締結） ピンクライトアップ(高知城,マ・シバパーク,フィッシングハーバー,ラ・ヴィータ)（10/1-2） 一緒に行こう！がん検診キャンペーン（10月-1月）への商品協賛・周知 アフラック・第一生命・四国銀行（H22.7.28締結） 一緒に行こう！がん検診キャンペーン（10月-1月）への商品協賛・周知
	○精密検査の受診促進	【現状値】 (9) 精密検査受診率 R3実績（市町村検診） 肺がん 87.1% 子宮頸がん 70.5% 胃がん 89.2% 乳がん 96.2% 大腸がん 83.0%	【現状値】 (9) 精密検査受診率 R4実績（市町村検診） 肺がん 90.3% 子宮頸がん 66.4% 胃がん 90.9% 乳がん 94.1% 大腸がん 83.3%
	○がん検診の精度向上	(10) がん検診精度管理 ・市町村及び検診機関のがん検診精度管理調査を実施 ・高知県健康診査管理指導協議会の開催 協議会1回開催 部会4回（肺、胃・大腸、子宮、乳）開催	(10) がん検診精度管理 ・市町村及び検診機関のがん検診精度管理調査を実施 ・高知県健康診査管理指導協議会の開催 協議会1回開催 部会8回（肺、胃・大腸、子宮、乳それぞれ2回ずつ）開催
(10) すべての市町村が精度管理・事業評価を実施するとともに科学的根拠に基づくがん検診を実施する。	○がん予防等に関する教育普及啓発	【取り組み状況】 ・第16回高知県がんフォーラム開催（R5.2.5 17:00～17:30）TV放送 ・拠点病院等による市民公開講座の開催 ・高知県がん教育に関する講師派遣事業実施要項策定 高知北高等学校通信制 他 ・がん教育総合支援事業「高知県がん教育推進協議会」教育委員会主催 【第1回】R4.7.25 【第2回】R5.2.17	【取り組み状況】 ・第17回高知県がんフォーラム開催（R6.2.11 17:00～17:30）TV放送 ・拠点病院等による市民公開講座の開催 ・高知県がん教育に関する外部講師派遣事業実施要項策定 がん教育外部講師派遣 66校（全67回）派遣予定 ・がん教育総合支援事業「高知県がん教育推進協議会」教育委員会主催 R6.1 実施予定
	2. がん医療水準の向上	○拠点病院等の機能充実 ・がん診療連携拠点病院等機能強化事業 補助先:高知医療センター・県立幡多けんみん病院・県立あき総合病院	・がん診療連携拠点病院等機能強化事業 補助先:高知医療センター・県立幡多けんみん病院・県立あき総合病院
	個別目標 すべての拠点病院に手術療法、放射線療法、薬物療法のチーム医療体制を整備する。	○がん診療に携わる人材の育成 ・国立がん研究センター主催の研修会への参加 ・全人的医療を行う高度がん専門医療人養成プログラム	・国立がん研究センター主催の研修会への参加 ・全人的医療を行う高度がん専門医療人養成プログラム
	○医療連携体制の整備	・地域連携クリティカルパスの活用状況については、地域ごとに大きな差異が見られ、全国一律で必須要件とすることは妥当ではないとがん診療連携拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループにおいて判断された。従って、今後、整備・活用は必須としない（令和4年9月22日付け「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針に関するQ&A」より）	・医療機関がん診療体制調査（R5.5.19～R5.6.16）※3年に1回の調査 ・対象機関数501 回答機関数395 回収率78.8% ・手術療法と薬物療法はすべての二次保健医療圏で提供 ・放射線療法は中央及び幡多医療圏に集約
	○セカンドオピニオン体制の整備	【現状値】 県内のがん治療に関するセカンドオピニオンに対応可能な医療機関数 16機関 （R2 医療機関がん診療体制調査）	【現状値】 県内のがん治療に関するセカンドオピニオンに対応可能な医療機関数 17機関 （R5 医療機関がん診療体制調査）
	○小児・AYA世代のがん対策	・小児がん：インターネット会議 毎月1回開催 ・生殖機能の温存に関する情報提供	・小児がん：インターネット会議 毎月1回開催 ・生殖機能の温存に関する情報提供

■高知県における取組

項目・目標値	取り組む施策	令和4年度	令和5年度
		取り組み状況・現状値	取り組み状況・現状値
		・妊よう性温存治療費補助金（R5.3現在） 卵子凍結3件、精子凍結2件、胚凍結1件、凍結した未受精卵子を用いた生殖補助医療1件	・妊よう性温存治療費補助金（R5.12現在） 卵子凍結1件、精子凍結1件、凍結した未受精卵子を用いた生殖補助医療1件
	○高齢者のがん対策	・高齢者のがん患者に対する医療のあり方について、国の動向に注視	・高齢者のがん患者に対する医療のあり方について、国の動向に注視
3. がん患者等への支援		・がん患者相談事業（R4.12現在） 高知大学医学部附属病院 726件（面談 415 電話 307 その他 4） 80.7件/月 高知医療センター 616件（面談 434 電話 176 その他 6） 68.4件/月 幡多けんみん病院 892件（面談 481 電話 367 その他 44） 99.1件/月 あき総合病院 172件（面談 138 電話 34 その他 0） 19.1件/月 高知赤十字病院 470件（面談 332 電話 138 その他 0） 52.2件/月 国立病院機構高知病院 204件（面談 161 電話 43 その他 0） 22.7件/月 がん相談センターこうち 216件（面談 92 電話 122 その他 2） 21.6件/月 7機関計 3,296件	・がん患者相談事業（R5.12現在） 高知大学医学部附属病院 593件（面談 322 電話 267 その他 4） 65.9件/月 高知医療センター 522件（面談 384 電話 136 その他 2） 58.0件/月 幡多けんみん病院 509件（面談 291 電話 141 その他 77） 56.6件/月 あき総合病院 205件（面談 151 電話 54 その他 0） 22.8件/月 高知赤十字病院 337件（面談 238 電話 99 その他 0） 37.4件/月 国立病院機構高知病院 213件（面談 176 電話 37 その他 0） 23.7件/月 がん相談センターこうち 220件（面談 66 電話 148 その他 6） 22.0件/月 7機関計 2,599件
個別目標 （1）がん診療連携拠点病院、がん診療連携推進病院及びがん相談センターこうちにおいて、相談支援機能の充実を図る。	○がん相談体制の整備・充実	・オーテピア高知図書館でのがん相談会の開催 10月 3回	・オーテピア高知図書館でのがん相談会の開催 10月 3回
（2）相談活動を行うがんの体験者（ピアサポーター）の養成を行う。		・ハローワークとがん診療連携拠点病院等の連携による出張相談（就労支援専門員1名） 高知大学医学部附属病院 毎月第2・4火曜日 高知医療センター 事前予約制 幡多けんみん病院 事前予約制 がん相談センターこうち 事前予約制	・ハローワークとがん診療連携拠点病院等の連携による出張相談（就労支援専門員1名） 高知大学医学部附属病院 毎月第2・4火曜日 高知医療センター 事前予約制 幡多けんみん病院 事前予約制 がん相談センターこうち 事前予約制
（3）がんに関する情報を掲載したパンフレット等を配布する医療機関を増加させる			
（4）すべての患者及び家族ががんに関する情報を手にできるようにする			
（5）すべてのがん診療連携拠点病院、がん診療連携推進病院は治療実績、がん診療を行う医師等の情報の公表を行う。	○相談窓口に関わる人材の育成	・がん専門相談員研修 R4.8.31	・両立支援に関する意見交換会 R5.9.13 ・第1回がん相談員研修 R5.10.22
	○がんに関する情報提供の充実	・がん相談窓口紹介カード改訂(R4.9) 2,400枚 がん相談窓口紹介ポスター改訂(R4.9) 355枚 ・がんサポートブック改訂版 3,500部	・がん相談窓口紹介カード改訂(R5.9) 4,640枚 がん相談窓口紹介ポスター改訂(R5.9) 240枚 ・がんサポートブック改訂版 4,100部
	○就労を含めた社会的な問題対策	・「高知県地域両立支援推進チーム」連絡会議 高知労働局主催 R4.7.1 ・高知両立支援セミナー開催 R5.2.28	・「高知県地域両立支援推進チーム」連絡会議 高知労働局主催 R5.11.6

■高知県における取組

項目・目標値	取り組む施策	令和4年度	令和5年度
		取り組み状況・現状値	取り組み状況・現状値
4. 緩和ケアの推進 個別目標 (1) がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修の修了者を全ての二次医療圏で増加させる (2) がん診療連携拠点病院及びがん診療連携推進病院でがん診療に携わる医師が全員緩和ケア研修を修了する (3) 緩和ケアチームや緩和ケア外来等の専門的な緩和ケアの提供体制の整備と質の向上	○医療従事者の育成 ○緩和ケア実施体制の充実	・がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会開催 平成30年度から開催指針の改正により、集合研修参加前に「e-learning」の受講が必須。 各拠点病院で集合研修を開催 高知大学医学部附属病院主催 R4.9.11 31名修了 共催：幡多けんみん病院、高知赤十字病院 高知医療センター主催 R5.2.5 24名修了 共催：あき総合病院	・がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会開催 平成30年度から開催指針の改正により、集合研修参加前に「e-learning」の受講が必須。 各拠点病院で集合研修を開催 高知大学医学部附属病院主催 R5.10.24 23名修了 高知医療センター主催 R6.2.4開催予定 幡多けんみん病院主催 R5.11.25 4名修了 あき総合病院 R5.10.24 23名修了
5. 地域の医療・介護サービス提供体制の構築 個別目標 (1) 「在宅」という選択肢を、医療従事者、在宅療養支援者、県民に周知する。 (2) 住み慣れた家庭や地域での療養生活を選択できる体制を整える。 (3) 自宅で最期をむかえたい人の要望に応えられる体制を整備する (参考指標：がん患者の自宅看取率10%以上)	○医療・介護サービス従事者の育成 ○在宅医療・介護サービス提供体制の構築	【現状値】 ・がん患者の自宅看取率（自宅死亡割合）R3：16.7% 【取り組み状況】 在宅緩和ケア推進事業 ・緩和ケアチームに関する研修会(WEB) R4.12.2 第2回緩和ケアチーム専門委員会研修会 参加者80名 R5.1.19 座談会～緩和ケアチームにおける困りごと～vol.2 参加者7名 ・緩和ケア病棟に関する研修会(WEB) R4.7.20 「緩和ケア病棟間の情報交換」 参加者27名 R5.2.22 第2回緩和ケア病棟専門委員会研修会 参加者11名 ・在宅緩和ケアに関する研修会(WEB) R4.10.30 第2回多職種で考える地域連携緩和ケア研修会 参加者108名 R5.3.5 第3回多職種で考える地域連携緩和ケア研修会 参加者72名	【現状値】 ・がん患者の自宅看取率（自宅死亡割合）R4：18.5% 【取り組み状況】 在宅緩和ケア推進事業 ・緩和ケアチームに関する研修会(WEB) R6.2.20 第3回緩和ケアチーム専門委員会研修会 (日程調整中) 座談会～緩和ケアチームにおける困りごと～vol.3 ・緩和ケア病棟に関する研修会(WEB) (日程調整中) 緩和ケア病棟間の情報交換 R5.7.28 第3回緩和ケア病棟専門委員会研修会 参加者 97名 ・在宅緩和ケアに関する研修会(WEB) R5.10.15 第4回多職種で考える地域連携緩和ケア研修会 参加者 70名 (日程調整中) 第5回多職種で考える地域連携緩和ケア研修会
6. がん登録の推進	○がん登録情報の活用と個人情報 ○院内がん登録の推進	【取り組み状況】 ・がん登録推進事業（R4.4.1～R5.3.31） 委託先：国立大学法人高知大学 ・遡り調査 2020年データについて実施 ・冊子「高知県のがん登録 2019年集計」 ・全国がん登録における指定診療所数(歯科診療含む) 45施設(R5.3現在)	【取り組み状況】 ・がん登録推進事業（R5.4.1～R6.3.31） 委託先：国立大学法人高知大学 ・遡り調査 2020年データ及び冊子「高知県のがん登録 2020年集計」は、国立がん研究センターのデータ整備が整っていないため、全国で未実施。今後、国がんでの整備ができ次第県において実施する予定。 ・全国がん登録における指定診療所数(歯科診療含む) 44施設(R5.12現在)